

作業観察から認知能力を
評価できたら...

認知能力障害は
ADLにどう影響が出る？

対象者に負担の少ない
認知機能評価はないか？



認知能力を最大限に生かした
支援方法を知りたい

認知機能の評価・介入に悩んだことのある精神科作業療法士必見！

できることを最大限に Allen認知能力障害モデルの理論と 事例から学ぶ支援のヒント

精神科領域において、対象者の認知能力の評価方法や残存する認知能力を活かした介入方法に悩む作業療法士は多いのではないのでしょうか。

Allen認知能力障害モデルは、精神科の作業活動で馴染みのある、革細工のレーシング作業を用いた評価ツール（ACLS-5）によって、認知レベルと日常生活課題の評価が可能なモデルです。

本研修では、Allen認知能力障害モデル研究会会員である木納先生をお呼びし、モデルに関する基本的な知識のほか、臨床場面での実践や個別支援での活用ポイントをお話しいたします。



講師 木納 潤一 先生

秋津鴻池病院リハビリテーション部
認定作業療法士

Allen認知能力障害モデル研究会会員

2025年11月23日（日） ●時間 13:30～16:30（入室13:15～）
●場所 オンライン（「ZOOM」で行います）

◆定員 200人

◆申込期間 2025年9月1日（月）～2025年11月19日（水）18時まで

◆申込方法 右のQRコード*1から研修チケット購入

◆その他 **ポイント付与や研修に関する諸注意はPeatixの本研修ページにて必ずご確認ください。** アレン認知能力障害モデルの評価キット購入をご希望の方は、右のQRコード*2よりご購入いただけます

研修に関する問合せ先：gakuseisin@gmail.com（学術部精神班担当宛）



* 1



* 2